

港 灣 課

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3 - 2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備交付金事業費 (防災・安全社会資本整備 交付金)
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	老朽化により橋梁上部工に遊離石灰が発生しており、コンクリート鉄筋の腐食の進行が懸念されるため、施設の効用が損なわれる前に補修を行い利用者の安全を確保したい。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所 番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万 円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果				評価視点：実施環境					評価	判断			
		市町村名	大字等			評価指標：危険 度判定（施設の現 況）		計	評価指標：構造 上の課題		評価指標：利 用度の頻度		計	評価指標：利 用への支障度		評価指標：地元関 係者・利用者の協力 要請		評価指標：代 替施設の有無				計		
						目視によ る破損個 所の有無 及び、錆 の割合、 土砂の堆 積状況	小計		施設の 機能	小計	港湾の 施設の 技術上 の基準 等との 適合	小計		当該施 設利用 の実績	小計	損個所 が多く 利用に 与える 支障度 割合	小計	地元関 係者・ 利用者 の協力・ 要望	小計				施設の 代替施 設が有 るのか	小計
1	伊万里港（瀬戸地区） 牧島橋	伊万里市	瀬戸町	51	H28	50	50	30	30	80	40	40	40	40	80	40	40	20	20	20	20	80	AAA	

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3 - 2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備交付金事業費 (防災・安全社会資本整備 交付金)
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	老朽化により橋梁上部工に遊離石灰が発生しており、コンクリート鉄筋の腐食の進行が懸念されるため、施設の効用が損なわれる前に補修を行い利用者の安全を確保したい。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所 番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万 円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け				評価視点：必要性・効果				評価視点：実施環境					評価	判断				
		市町村名	大字等			評価指標：危険 度判定（施設の現 況）		評価指標：危険 度判定（機能判 定）		評価指標：構造 上の課題		評価指標：利 用度の頻度		評価指標：利 用への支障度		評価指標：地元関 係者・利用者の協力 要請		評価指標：代 替施設の有無						
						目視によ る破損個 所の有無 及び、錆 の割合、 土砂の堆 積状況	小計	施設の 機能	小計	計	港湾の 施設の 技術上 の基準 等との 適合	小計	当該施 設利用 の実績	小計	損個所 が多く 利用に 与える 支障度 割合	小計	地元関 係者・ 利用者 の協力・ 要望	小計			施設の 代替施 設が有 るのか	小計	計	
						(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(20)	(20)	(20)	(20)	(100)		
2	伊万里港（久原北地区） 楠久1号橋りょう	伊万里市	山代町久原	42	H28	60	60	30	30	90	40	40	40	40	80	40	40	20	20	20	20	80	AAA	

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3 - 2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備交付金事業費 (防災・安全社会資本整備 交付金)
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	防波堤の老朽化により上部工に多数の欠損が発生し、また沈下が著しいため、補修を行いたい。
------	---

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所 番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万 円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果				評価視点：実施環境					評価	判断			
		市町村名	大字等			評価指標：危険 度判定（施設の現 況）		評価指標：危険 度判定（機能判 定）		計	評価指標：構造 上の課題		評価指標：利 用度の頻度		評価指標：利 用への支障度		評価指標：地元関 係者・利用者の協力 要請		評価指標：代 替施設の有無			計		
						目視によ る破損個 所の有無 及び、錆 の割合、 土砂の堆 積状況	小計	施設の 機能	小計		計	港湾の 施設の 技術上 の基準 等との 適合	小計	当該施 設利用 の実績	小計	損個所 が多く 利用に 与える 支障度 割合	小計	地元関 係者・ 利用者 の協力・ 要望	小計				施設の 代替施 設が有 るのか	小計
						(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(20)	(20)	(20)	(20)	(100)		
3	唐津港（東港地区） 東港西3号防波堤	唐津市	東大島町	27	H28	50	50	30	30	80	60	60	30	30	90	40	40	20	20	20	20	80	AAA	

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3 - 2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備交付金事業費 (防災・安全社会資本整備 交付金)
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	防波堤の老朽化により上部工に多数の欠損が発生し、また塩害による鋼管杭の腐食が進行しているため、施設の効用が損なわれる前に腐食対策を行いたい。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所 番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万 円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果				評価視点：実施環境					評価	判断			
		市町村名	大字等			評価指標：危険 度判定（施設の現 況）		計	評価指標：構造 上の課題		評価指標：利 用度の頻度		計	評価指標：利 用への支障度		評価指標：地元関 係者・利用者の協力 要請		評価指標：代 替施設の有無				計		
						目視によ る破損個 所の有無 及び、錆 の割合、 土砂の堆 積状況	小計		施設の 機能	小計	港湾の 施設の 技術上 の基準 等との 適合	小計		当該施 設利用 の実績	小計	損個所 が多く 利用に 与える 支障度 割合	小計	地元関 係者・ 利用者 の協力・ 要望	小計				施設の 代替施 設が有 るのか	小計
						(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(20)	(20)	(20)	(20)	(100)		
4	唐津港（二夕子地区） 東港船溜防波堤	唐津市	二夕子	54	H27	60	60	30	30	90	40	40	40	40	80	40	40	20	20	20	20	80	AAA	

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3 - 2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備交付金事業費 (防災・安全社会資本整備 交付金)
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	棧橋上部工の塩害劣化が進行しているため、施設の効用を失う前に補修を行い、利用者の安全を確保する。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所 番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万 円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果				評価視点：実施環境					評価	判断			
		市町村名	大字等			評価指標：危険 度判定（施設の現 況）		計	評価指標：構造 上の課題		評価指標：利 用度の頻度		計	評価指標：利 用への支障度		評価指標：地元関 係者・利用者の協力 要請		評価指標：代 替施設の有無				計		
						目視によ る破損個 所の有無 及び、錆 の割合、 土砂の堆 積状況	小計		施設の 機能	小計	港湾の 施設の 技術上 の基準 等との 適合	小計		当該施 設利用 の実績	小計	損個所 が多く 利用に 与える 支障度 割合	小計	地元関 係者・ 利用者 の協力・ 要望	小計				施設の 代替施 設が有 るのか	小計
5	唐津港（大島地区） 西大島地区（-5m）棧 橋	唐津市	西大島町	57	H28	60	60	30	30	90	40	40	40	40	80	40	40	20	20	20	20	80	AAA	

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3 - 2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備交付金事業費 (防災・安全社会資本整備 交付金)
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	老朽化により橋梁上部工に遊離石灰が発生しており、コンクリート鉄筋の腐食の進行が懸念されるため、施設の効用が損なわれる前に補修を行い利用者の安全を確保したい。また対象橋梁は耐震性にも問題があるため、合わせて耐震化を行いたい。
------	---

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所 番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万 円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果				評価視点：実施環境					評価	判断			
		市町村名	大字等			評価指標：危険 度判定（施設の現 況）		評価指標：危険 度判定（機能判 定）		計	評価指標：構造 上の課題		評価指標：利 用度の頻度		評価指標：利 用への支障度		評価指標：地元関 係者・利用者の協力 要請		評価指標：代 替施設の有無			計		
						目視によ る破損個 所の有無 及び、錆 の割合、 土砂の堆 積状況	小計	施設の 機能	小計		計	港湾の 施設の 技術上 の基準 等との 適合	小計	当該施 設利用 の実績	小計	計	損個所 が多く 利用に 与える 支障度 割合	小計	地元関 係者・ 利用者 の協力・ 要望				小計	施設の 代替施 設が有 るのか
						(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(20)	(20)	(20)	(20)	(100)		
6	唐津港（東港地区） 東大島橋	唐津市	東大島町	57	H28	50	50	30	30	80	40	40	40	40	80	40	40	20	20	20	20	80	AAA	

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3 - 2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備交付金事業費 (防災・安全社会資本整備 交付金)
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	老朽化により橋梁上・下部工に剥離ひび割れが発生、また鋼管杭の腐食が進行しているため、施設の効用が損なわれる前に補修を行い利用者の安全を確保したい。
------	---

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所 番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万 円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果				評価視点：実施環境					評価	判断			
		市町村名	大字等			評価指標：危険 度判定（施設の現 況）		計	評価指標：構造 上の課題		評価指標：利 用度の頻度		評価指標：利 用への支障度		評価指標：地元関 係者・利用者の協力 要請		評価指標：代 替施設の有無		計					
						目視によ る破損個 所の有無 及び、錆 の割合、 土砂の堆 積状況	小計		施設の 機能	小計	港湾の 施設の 技術上 の基準 等との 適合	小計	当該施 設利用 の実績	小計	損個所 が多く 利用に 与える 支障度 割合	小計	地元関 係者・ 利用者 の協力・ 要望	小計				施設の 代替施 設が有 るのか	小計	
7	唐津港（二夕子地区） 白帆橋	唐津市	二夕子	18	H28	50	50	30	30	80	40	40	40	40	80	40	40	20	20	20	20	80	AAA	

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3 - 2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備交付金事業費 (防災・安全社会資本整備 交付金)
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	老朽化により栈橋床板の劣化が著しく、コンクリートひび割れが多数発生して危険な状態であり、床板の取替を行い利用者の安全を確保する。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所 番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万 円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果				評価視点：実施環境					評価	判断			
		市町村名	大字等			評価指標：危険 度判定（施設の現 況）		評価指標：危険 度判定（機能判 定）		計	評価指標：構造 上の課題		評価指標：利 用度の頻度		計	評価指標：利 用への支障度		評価指標：地元関 係者・利用者の協力 要請				評価指標：代 替施設の有無		計
						目視によ る破損個 所の有無 及び、錆 の割合、 土砂の堆 積状況	小計	施設の 機能	小計		港湾の 施設の 技術上 の基準 等との 適合	小計	当該施 設利用 の実績	小計		損個所 が多く 利用に 与える 支障度 割合	小計	地元関 係者・ 利用者 の協力・ 要望	小計			施設の 代替施 設が有 るのか	小計	
		(60)	(60)			(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(20)	(20)	(20)	(20)			(100)		
8	諸富港（石塚地区） 2号栈橋	佐賀市	諸富町	30	H28	60	60	30	30	90	40	40	40	40	80	60	60	10	10	20	20	90	AAA	

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3 - 2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備交付金事業費 (防災・安全社会資本整備 交付金)
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	施設の老朽化により、物揚場の泊地に土砂が堆積するなど機能不全に陥っているため、臨港交通施設の補修（拡幅）を行うことで機能回復を図りたい。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所 番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万 円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果				評価視点：実施環境					評価	判断			
		市町村名	大字等			評価指標：危険 度判定（施設の現 況）		計	評価指標：構造 上の課題		評価指標：利 用度の頻度		評価指標：利 用への支障度		評価指標：地元関 係者・利用者の協力 要請		評価指標：代 替施設の有無		計					
						目視によ る破損個 所の有無 及び、錆 の割合、 土砂の堆 積状況	小計		施設の 機能	小計	港湾の 施設の 技術上 の基準 等との 適合	小計	当該施 設利用 の実績	小計	損個所 が多く 利用に 与える 支障度 割合	小計	地元関 係者・ 利用者 の協力・ 要望	小計				施設の 代替施 設が有 るのか	小計	
9	住ノ江港（芦刈地区） 住ノ江西1号臨港道路	小城市	芦刈町永田	75	H28	60	60	30	30	90	40	40	40	40	80	40	40	20	20	20	20	80	AAA	

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3 - 2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備交付金事業費 (防災・安全社会資本整備 交付金)
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	浮棧橋の塗装が劣化し、鋼材の錆びが顕著であるため、施設の効用を失う前に補修を行い利用者の安全を確保する。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所 番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万 円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け				評価視点：必要性・効果				評価視点：実施環境						評価	判断			
		市町村名	大字等			評価指標：危険 度判定（施設の現 況）		評価指標：危険 度判定（機能判 定）		評価指標：構造 上の課題		評価指標：利 用度の頻度		評価指標：利 用への支障度		評価指標：地元関 係者・利用者の協力 要請		評価指標：代 替施設の有無						
						目視によ る破損個 所の有無 及び、錆 の割合、 土砂の堆 積状況	小計	施設の 機能	小計	計	港湾の 施設の 技術上 の基準 等との 適合	小計	当該施 設利用 の実績	小計	計	損個所 が多く 利用に 与える 支障度 割合	小計	地元関 係者・ 利用者 の協力・ 要望	小計			施設の 代替施 設が有 るのか	小計	計
						(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(20)	(20)	(20)	(20)	(100)		
10	大浦港（広江地区） 大浦港浮棧橋	太良町	大浦丁	60	H28	50	50	30	30	80	40	40	40	40	80	40	40	20	20	20	20	80	AAA	